



# Business Report 2020

第46期  
中間事業報告書  
2019年7月1日～12月31日

株式会社ジョイフル  
〒870-0141 大分県大分市三川新町一丁目1番45号 TEL.097-551-7131(代)  
<http://www.joyfull.co.jp/>



# Business Report 2020

第46期中間事業報告書

Restaurant  
Joyfull

## 経営理念 Management Philosophy

私達は、チェーンレストラン事業を通じ、  
顧客・株主・従業員・取引先・社会の、  
精神的・物質的幸福を調和させ、その安定的増進を実現します。

## ジョイフル 店員の誓い Our Promise

私達は、ジョイフルの旗のもと、信頼される品質の店、低廉な価格の店、  
どこにでもあって、いつでも開いている店、気軽に快く過ごしていただける店として、  
永続的・安定的に営業し、皆様に愛される店となります。

## 連結業績 ハイライト Consolidated Results



※当社は、2018年6月期より決算期(事業年度の末日)を12月31日から6月30日に変更しております。これにより、2018年6月期は2018年1月1日から2018年6月30日までの6ヶ月決算となっております。

株主の皆様へ

## 下期で客数前年比超を達成すべく、 既存店強化の取り組みに専念いたしました。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、ここに第46期(2020年6月期)の中間事業報告書を作成いたしましたので、ご高覧いただきますよう、宜しく御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、輸出が引き続き弱含み中で製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、個人消費の持ち直しや設備投資の増加の動きにより、緩やかに回復する状況で推移いたしました。

一方、外食業界においては、雇用・所得環境の改善に伴い、個人消費の持ち直しが続くことが期待されるものの、労働力不足による人件費の更なる上昇など、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、子供から年配のお客様に至るまで「気楽な団欒の場」としてご利用いただけるよう、「お客様視点に立ったサービスの実践」に取り組み続けてまいりました。

商品施策では、既存商品のブラッシュアップを継続し、提供品質の向上を進めると同時に、試験販売を繰り返してお客様の消費動向を慎重に分析した上で、グランドメニューの改定を1回、フェアを3回行いました。

グランドメニューの改定では新商品「プレミアムハンバーグ」が登場いたしました。ふくらとした食感でありながら肉粒感を感じることができ、ジューシーな味わいのハンバーグで、幅広い年代のお客様に喜んでいただける商品に仕上がりました。

営業施策では、店舗状態向上のために店長のマネジメント力や従業員のオペレーション力の強化を進めると同時に、ご来店毎に自動的にスタンプが貯まり、クーポン等が利用できるお得で便利なスマートフォン専用無料アプリ「ジョイフル公式アプリ」のリニューアルや「ジョイフルLINE公式アカウント」の開設を行いました。お客様の来店頻度の向上に繋がるよう、今後のプロモーションにも活用してまいります。

主力であるジョイフル業態の店舗展開につきましては、当第2四半期連結累計期間は出店を行わず、外観及び店内インテリアに明るい色合いの新デザインを採用した福岡警固公園前店や大分大手町店のリニューアルなど、既存店の強化に力を入れてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は36,311百万円(前年同四半期比2.6%減)、営業利益は494百万円(前年同四半期比52.8%減)、経常利益は499百万円(前年同四半期比51.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は183百万円(前年同四半期は302百万円の四半期純損失)となりました。

既存店の客数減少および最大繁忙期である7月から8月、10月にかけて発生した台風や豪雨による店舗の一時クローズが大きく影響したことにより減収となりました。

また売上高の減少に加え、原価率や人件費率の上昇などにともない、営業利益、経常利益は減益となりました。

なお昨今の新型コロナウイルスの猛威による感染拡大予防のため日本政府が2月末に発表したイベント等の自粛要請以降、外食の利用需要が大きく減少いたしました。

主力であるジョイフル業態もその影響を受けており、2月までは売上高、利益ともに計画通りに推移していましたが、3月度においては大きく計画値を下回る状況となりました。

今後も感染拡大の状況や行政府による規制対応などによっては大きく変動する可能性があるなど、業績予想の合理的な見積りが困難な状況であることを鑑み、誠に遺憾ではありますが、中間配当を無配、期末配当は未定とさせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げます。今後とも当社へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長  
穴見 くるみ



## グランドメニューの改定とプレミアムハンバーグの販売開始



2019年10月1日の消費税増税のタイミングにグランドメニューの改定を行いました。このグランドメニューから「しんけんハンバーグ」に代わり、「プレミアムハンバーグ」が新たに登場しました。この「プレミアムハンバーグ」はお客様に喜んでいただき、核商品となるメニューを目指し、改良に改良を重ねて開発を進めました。最大の特徴はふっくらとした「厚み」です。肉の配合・挽き目、スパイスの配合も研究開発を重ねた結果、かつてないほどの肉粒感、肉汁を抱えたジューシーな仕上がりととなりました。すべてにこだわり作り上げた逸品をご用意することができ、お客様から好評をいただいております。

## プラスチック製ストローの提供廃止

社会的な問題となっている「海洋汚染」。自然分解されないプラスチック製のストローやごみを海の生き物が誤って食べてしまうことで、海の生態系を破壊する深刻な問題となっています。この問題への取り組みとして、2019年10月より順次、ジョイフル全店でプラスチック製ストローの提供を廃止。お客様からストローのご要望があった際には、環境にやさしい代替素材のストローの提供を行っております。ジョイフルでは、今後も安全、安心な食の提供を通じて、地域社会に貢献するとともに、環境保全にも積極的に取り組んでまいります。



## ジョイフル公式アプリの大幅なリニューアル

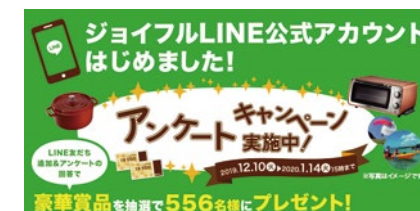
2019年6月に導入した「ジョイフル公式アプリ」が、11月に大幅なリニューアルを行ったことで、従来よりもさらに利便性が高くなりました。来店回数に応じてスタンプカードのランクが上がり、ランクごとに豪華特典を用意いたしました。従来はポテトフライ無料・ジョイカフェ無料の2種類のみの特典でしたが、リニューアル後は「ドリンクバーフリーパス」や「アプリ限定のスペシャルメニュー」の追加、来店数やプロフィールに応じたクーポンの配信も行っております。ダウンロード数も大幅に増え、2020年3月現在では、100万人のお客様に「ジョイフル公式アプリ」をご利用いただいております。



※商品イメージ写真 実際店舗で提供される盛り付けとは異なります。

## ジョイフルLINE公式アカウントの開設

2019年12月にジョイフルLINE公式アカウントを開設いたしました。幅広い世代で利用されているコミュニケーションツールであるLINEを取り入れることで、より多くのお客様にジョイフルを身近に感じていただけるようになりました。公式アカウントの開設に伴い、豪華賞品が当たるキャンペーンを実施したことで、多くの方に「友だち」登録していただきました。2020年3月現在では、20万人の方に「友だち」登録していただきました。「友だち」登録していただいた方には、キャンペーンやクーポンなどのお得な情報、おすすめメニュー情報、店舗検索機能や求人情報の配信を行っております。



## 新デザインへのリニューアル

2019年7月に福岡警固公園前店、大分大手町店が新デザインへとリニューアルいたしました。この新デザインはお客様に食事を気軽に楽しんでいただける場を創出することを意識しております。全体的に明るいトーンの色合いとし、カフェ風の要素を取り入れた開放的で明るい内装にしました。アクセントとなる木目もナチュラルな風合いのものを選ぶとともに、テーブルや椅子などの店内インテリアも、よりモダンで使い心地のよいものへと変更しております。



ジョイフル福岡警固公園前店



ジョイフル大分大手町店

## テイクアウト販売を全店展開



九州の店舗で実験販売を行っていた「テイクアウト販売」を、2020年2月に全店で開始いたしました。以前から多くのお客様からテイクアウト販売のご要望があり、実験販売で検討を重ねた結果、全店へ導入することができました。店内でゆっくり食事をする時間の無いお客様に大変好評で、ご自宅や職場など様々な環境下でジョイフルのメニューを楽しんでいただけるようになりました。お客様からの貴重なご意見をもとに、4月からはキッズメニューとおかずのみの販売も開始しております。

## 全店舗全席禁煙へ

改正健康増進法の施行に伴い、2020年4月1日から全店舗で全席禁煙になりました。喫煙されるお客様は喫煙ブース（一部店舗のみ）、店外設置の灰皿を利用していただいております。

全席禁煙のレストランは、家族連れや女性のお客様が来店する頻度が高まる傾向にあるため、3月に改定したグランドメニューではみんなで分けて食べることができるアパタイザー（前菜）やキッズメニュー、デザートメニューを豊富に取り揃えました。

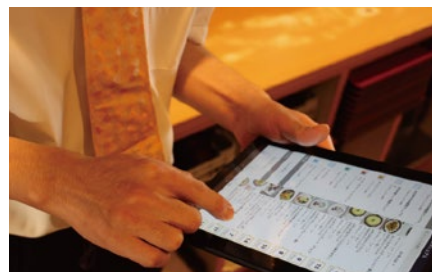


店内喫煙ブース

店外喫煙ブース

## クラウド型マニュアルの導入

ジョイフル全店舗にタブレット端末を導入し、マニュアルをタブレットで確認できるようになりました。静止画だけでなく、動画マニュアルも配信しており、実際の動きが分かりやすくなりました。誰でもどこにでも持ち運べるタブレットは、オペレーションに不安があるときなど、すぐにマニュアルを確認することができます。料理提供時間の改善や新人教育の充実に寄与しています。



※商品イメージ写真 実際店舗で提供される盛り付けとは異なります。

## 「ジョイフル公式アプリ」100万ダウンロード突破記念キャンペーン開催



2019年11月の大幅リニューアルを機に、ジョイフル公式アプリの会員数はさらに増加し続けております。2020年3月にはついに100万ダウンロードを突破し、記念キャンペーンを開催することができました。5月中旬まで開催している本キャンペーンは、会計時のレシートを送付すると豪華商品が当たる応募方式のため、アプリ会員の来店頻度を高める効果と新規会員の獲得が期待でき、さらなる客数増加が見込めます。ジョイフルLINE公式アカウントとともに、お客様に有益な情報を日々配信し、日頃からジョイフルを身近に感じていただける環境を創出することが、客数増加の一翼を担うと考えております。

## 並木街珈琲および台湾ジョイフルの出店

郊外型カフェ業態「並木街珈琲」の2号店、「並木街珈琲 博多の森店」が2020年5月（予定）に出店いたします。1号店の大分中島店は幅広い年齢層の女性に好評をいただいております。博多の森店でも同様に女性をターゲットとしております。店前には並木道路、近隣には自然豊かな公園が立地しており、ゆっくりと落ち着いた時間を過ごしていただけます。

●並木街珈琲 博多の森店

福岡県福岡市博多区東平尾1丁目182-1

定休日：なし 客席数：87席 駐車場数：46台

海外子会社の台湾珍有福餐飲股份有限公司は2020年4月に2店舗を出店いたしました。どちらもショッピングモール内の出店のため、多くのお客様にジョイフルを認知していただくことができます。

●高雄成功店 高雄市前鎮區中華五路1111號

●台南永康店 台南市永康區中正南路358號



並木街珈琲 博多の森店(イメージ)



台湾ジョイフル 台南永康店(イメージ)

連結  
財務諸表

Consolidated  
Financial  
Statement

資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は364億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ8千9百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金等の流動資産の減少4千3百万円、無形固定資産の増加2億3千5百万円、投資その他の資産の減少2億8千6百万円によるものであります。

Point

負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は264億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千5百万円の減少となりました。これは主に短期借入金、1年内返済予定の長期借入金等の流動負債の減少12億9千1百万円、長期借入金等の固定負債の増加12億7千6百万円によるものであります。

Point

純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産は100億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ7千3百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の増加3千6百万円、非支配株主持分の減少1億9百万円によるものであります。

Point

売上高

売上高は363億1千1百万円(前年同四半期比△2.6%)となりました。減収の主な要因は、新規出店に伴う増加、外部販売上の増加があったものの、既存店客数の減少、閉店に伴う減少が影響したものです。

Point

営業利益・経常利益

営業利益は4億9千4百万円(前年同四半期比△52.8%)、経常利益は4億9千9百万円(前年同四半期比△51.1%)となりました。減益の主な要因は、前期減損損失に伴う減価償却費の減少などがあったものの、原価率や人件費率の上昇などが影響したものです。

Point

親会社株主に帰属する四半期純利益又は四半期純損失

親会社株主に帰属する四半期純利益は1億8千3百万円となりました。増益の主な要因は、減損損失の計上が前年同四半期と比べ4億8百万円減少したことによるものです。

Point

連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期 連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	8,405	8,362
固定資産	28,112	28,066
有形固定資産	21,747	21,753
無形固定資産	286	522
投資その他の資産	6,078	5,791
資産合計	36,518	36,428
<b>負債の部</b>		
流動負債	11,147	9,855
固定負債	15,270	16,546
負債合計	26,417	26,401
<b>純資産の部</b>		
株主資本	9,844	9,880
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	2,315	2,315
利益剰余金	5,249	5,285
自己株式	△3,720	△3,720
その他の包括利益累計額合計	△32	△32
純資産合計	10,100	10,027
負債純資産合計	36,518	36,428

連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
売上高	37,284	36,311
売上原価	12,092	11,892
売上総利益	25,192	24,418
販売費及び一般管理費	24,144	23,924
営業利益	1,047	494
営業外収益合計	111	119
営業外費用合計	138	115
経常利益	1,020	499
税金等調整前四半期純利益	431	285
法人税、住民税及び事業税	389	146
法人税等調整額	399	68
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△357	70
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△302	183

※金額は百万円未満を切捨表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	388	1,099
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,903	△1,541
財務活動による キャッシュ・フロー	1,259	159
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△2,255	△294
現金及び現金同等物の 期首残高	5,833	5,183
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,578	4,889

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、1,099百万円となりました。収入の主な内訳は、減価償却費820百万円、未払又は未収消費税等の増減590百万円、仕入債務の増減573百万円であり、支出の主な内訳は、未払費用の増減658百万円、たな卸資産の増減449百万円であります。

Point

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、1,541百万円となりました。支出の主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出1,702百万円であります。

Point

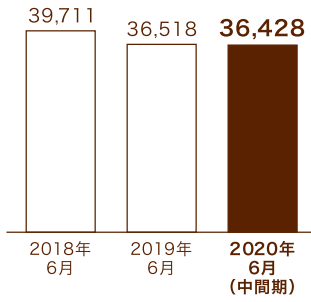
財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、159百万円となりました。収入の主な内訳は、長期借入れによる収入2,900百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出2,049百万円、短期借入金の純増減額500百万円であります。

Point

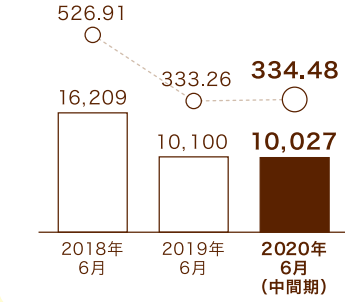
総資産

単位:百万円



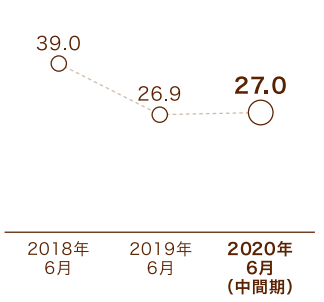
純資産

□ 純資産 単位:百万円  
○ 1株当たり純資産 単位:円/銭



自己資本比率

単位:%



※当社は、2018年6月期より決算期(事業年度の末日)を12月31日から6月30日に変更しております。これにより、2018年6月期は2018年1月1日から2018年6月30日までの6ヶ月決算となっております。

株式情報  
Stock Information

株式の状況

発行可能株式総数  
**120,000,000株**

発行済株式総数  
**31,931,900株**

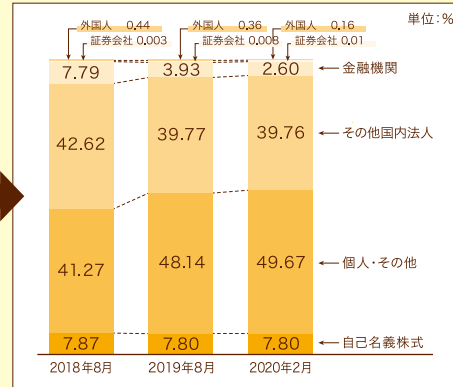
株主数  
**14,473名**

株式の所有者別状況

	2018年8月31日現在		2019年8月31日現在		2020年2月29日現在	
	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)
証券会社	5	1,004	7	2,782	9	3,779
外国人	19	141,900	20	114,700	14	50,303
金融機関	13	2,487,362	11	1,256,286	8	830,386
その他国内法人	102	13,610,180	101	12,697,934	100	12,697,434
個人・その他	13,517	13,179,718	13,979	15,370,694	14,341	15,860,316
自己名義株式	1	2,511,736	1	2,489,504	1	2,489,682
<b>合計</b>	<b>13,657</b>	<b>31,931,900</b>	<b>14,119</b>	<b>31,931,900</b>	<b>14,473</b>	<b>31,931,900</b>

※基準日時点に基づく株主名簿による記載となります。

株式の所有者別構成比率の推移



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から6月30日
定時株主総会	毎年11月
基準日	定時株主総会の議決権/毎年8月31日 期末配当金/毎年8月31日 中間配当金/毎年2月末(中間配当を実施する場合)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)	TEL.0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告の方法	電子公告の方法により行います。但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	<a href="http://www.joyfull.co.jp/">http://www.joyfull.co.jp/</a>
上場取引所	福岡証券取引所

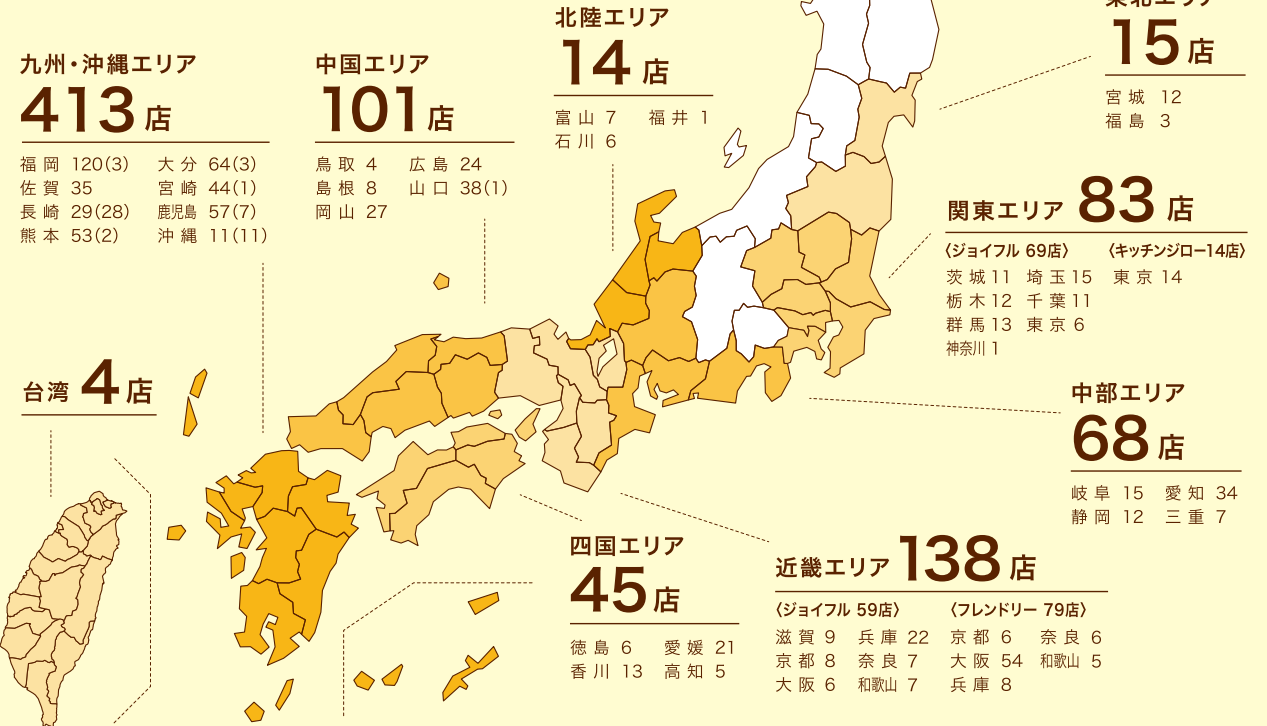
◎住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座がある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

会社情報・  
店舗情報  
About Us

グループ店舗一覧 (2019年12月31日現在)

**882店** (うちFC店舗56店 ※( )内はFC店舗)



会社概要 (2019年12月31日現在)

社名	株式会社ジョイフル	創業	昭和40年6月	資本金	60億円
大分本社	大分県大分市三川新町1丁目1番45号	創立	昭和51年5月	主な事業内容	「ファミリーレストランジョイフル」のチェーン展開
東京本社	東京都港区赤坂1丁目12番32号アーク森ビル24階	連結子会社	株式会社ジョイフル北日本/株式会社ジョイフル関東/株式会社ジョイフル東海/株式会社ジョイフル東関西・北陸/株式会社ジョイフル西関西/株式会社ジョイフル中国/株式会社ジョイフル四国/株式会社ジョイフル北九州/株式会社ジョイフル中九州/株式会社ジョイフル東九州/株式会社ジョイフル西九州/株式会社ジョイフル南九州/株式会社Rising Sun Food System/株式会社フレンドリー/株式会社キッチンジロー/台湾珍有福餐飲股份有限公司/株式会社ジョイフルサービス		
福岡センター	福岡県築上郡築上町日奈古186番1号				
熊本工場・配送センター	熊本県菊池市袈裟尾字下大迫445番4号				
愛知工場	愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地1番17号				